

東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター

運動器疼痛メディカルリサーチ & マネジメント講座による

「心身の健康に関する全国調査」に参加された方へ

当講座では、肩こりや腰痛、膝の痛みといった運動器の痛みと、運動不足などの生活習慣や、メンタルヘルスなどの心理社会的要因の関連を研究しています。また運動器の痛みの予防や治療において、標的とする心理社会的リスクや生活習慣のスクリーニングツールの開発を行っています。

【研究課題】

生活習慣及び心理的要因と痛みの関連についての大規模横断研究(審査番号 2018132NI)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

主任研究機関 東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター
運動器疼痛メディカルリサーチ & マネジメント講座

研究責任者 松平 浩

担当業務 研究統括、データ解析、論文作成

【共同研究機関】

研究機関 順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座
マギル大学心理学科 (カナダ・ケベック州)

研究責任者 山田恵子

担当業務 データ解析、論文作成

研究機関 Shirley Ryan AbilityLab
Department of Physical Medicine and Rehabilitation, Northwestern
University Feinberg School of Medicine, Chicago, IL, USA

研究責任者 若泉謙太

担当業務 データ解析、論文作成

【研究期間】

2019 年 06 月 17 日～2024 年 03 月 31 日

【対象となる方】

2015 年に東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座による「心身の健康に関する全国調査」に参加された方

【研究の目的】

生活習慣や心理社会的要因と慢性痛との関連が報告されていますが、いまだその詳細についてはエビデンスが不十分な点があります。当講座では気分状態や身体化傾向といった心理社会的要因、運動習慣や睡眠などに注目して研究を行う予定です。6 種類の気分状態（怒り、緊張、抑うつ、疲労、混乱、活力）、睡眠障害、ストレスレベル、定期的な運動習慣や喫煙といった生活習慣などが慢性痛の有症やそれによる生活障害の有無に関係しているか、生活習慣と慢性痛の関係を気分状態やストレスレベルが媒介しているかなどを検討します。肩こりは日本で有訴率が非常に高い身体愁訴ですが、肩こりによる生活への支障度と身体化傾向（身体症状により敏感で、症状を訴える傾向）が高いこととの関連も検討します。また、当講座ではこれまでに身体症状や身体化傾向を評価するためのツールである SSS(Somatic Symptom Scale)-8 日本語版を開発いたしました。痛み患者の有する身体化のスクリーニングをより行いやすくするための SSS-8 短縮版を開発する予定です。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。2015 年のインターネット調査で得られた約 5 万人のデータを利用して行う研究です。特に参加者された方に新たにご負担いただくことはありません。

アンケートの結果データ（日本語版 SSS-8、年齢、性別、身長、体重、居住地、婚姻状況、就業状況、抑うつ、健康関連 Quality of Life、睡眠、全般的健康観、痛み、医療機関への受診回数や頻度等）は個人が特定されない状態で当講座に保存されています。データは共同研究機関である順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座およびマギル大学心理学科所属の山田恵子、Shirley Ryan AbilityLab および Department of Physical Medicine and Rehabilitation, Northwestern University Feinberg School of Medicine 所属の若泉謙太に CD-ROM を用いて受け渡します。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、あなたの個人情報を一切含まない状態で収集され、当研究室において岡 敬之が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管しています。そのため、同意を取り消すこと及び個人の結果をあ

あなたにお伝えすることはできません。

あなたの情報・データ等は、順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座、マギル大学心理学科所属、Shirley Ryan AbilityLab、Department of Physical Medicine and Rehabilitation, Northwestern University Feinberg School of Medicine に送られ解析・保存されますが、どなたのものか分からない状態で、山田恵子と若泉謙太が、当人のみが使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座の講座寄付金から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの新たな謝金はございません。

2019 年 6 月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター

運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座 特任准教授 岡敬之

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話: 03-3815-5411 (内線 34414) Fax: 03-5841-9549